

再生可能エネルギーの導入促進

政策提言先 資源エネルギー庁

政策提言の要旨

国が策定した新たな「エネルギー基本計画」においては、再生可能エネルギーについて、有望かつ多様な国産エネルギー源であると位置付け、2013年から3年程度、導入を最大限加速していき、その後も積極的に推進していくとする一方で、エネルギーミックスについては、状況等を見極めて、速やかに示すとされ、明確にはなっていません。

今後、再生可能エネルギーの飛躍的な導入を実現させていくためには、電源構成に占める再生可能エネルギーの導入目標や送電網が脆弱な過疎地域等における送電網のインフラ整備等を含め、そのための道筋を、国としてしっかり示すことが必要と考えます。

特に、中山間地域には、再生可能エネルギーの導入の適地が多く存在しますが、導入を阻害する様々な要因があります。そのため、資源の有効活用と再生可能エネルギーの導入促進に向けての積極的な支援を行っていただきたい。

【政策提言の具体的内容】

再生可能エネルギーの導入を積極的に推進していくとの姿勢を堅持し、電源構成に占める再生可能エネルギーの導入目標や送電網が脆弱な過疎地域等における送電網のインフラ整備等を含め、その道筋を早急に示していただきたい。

あわせて、中山間地域等における再生可能エネルギーの導入を阻害する要因となっている次の2点について、早急に対応いただきたい。

- ① 送電インフラが整備されるまでの間は、送電される電力の安定化のために発電事業者が導入する蓄電設備等に対して、財政的支援を行っていただきたい。
- ② 風力発電や小水力発電については、事業の計画から運用開始までに相当の期間を要することから、平成26年度末までの3年間となっている優遇期間を、さらに5年間延長する等、固定価格買取制度の効果的な制度設計を行っていただきたい。
また、事業化の検討において重要な要素となる買取価格と買取期間について、現状では年度末になっている決定、公表の時期をできるだけ早くしていただきたい。

【政策提言の理由】

- ① 新たな「エネルギー基本計画」においては、再生可能エネルギーについて、2013年から3年程度、導入を最大限加速していき、その後も積極的に推進していくとされておりますが、エネルギーミックスについては、固定価格買取制度に基づく再生可能エネルギーの導入などの状況等を見極めて、速やかに示すとされ、明確にはなっていません。
再生可能エネルギーの導入促進を図るためには、成長分野としての発電事業への新たな投資を積極的に促し、事業の計画的な推進ができる環境づくりが急務であり、国が将来の電源構成に占める再生可能エネルギーの導入目標や送電網が脆弱な過疎地域等における送電網のインフラ整備等を含め、その道筋をしっかりと示す必要があります。
- ② 特に、再生可能エネルギーの飛躍的な導入を実現させるためには、豊富な賦存量を有す

る中山間地域での再生可能エネルギーの導入促進策が大変重要となっています。

しかし、大きな電力需要がない中山間の過疎地域では電力の送電網が脆弱であり送電網への接続可能量に限界があり、実際に本県においても、電力会社の送電網への接続の問題で発電施設導入を断念する事態が多くなっています。

平成25年5月31日付けの電気設備の技術基準の解釈の一部改正により、いわゆるバンク逆潮流が認められ、それまで連系できなかった地点においても一定量の再生可能エネルギーの導入が可能となりましたが、風力発電所などの大型電源が既に連系している場合には、上位送電線の受入可能容量に限界があるため、バンク逆潮流の負担金に加え、上位送電線の増強について莫大な費用負担を求められ、依然として、事業化を断念したり、事業規模を縮小せざるを得ない状況があります。

これらの問題を根本的に解決するためには、国の責任において送電網の整備・増強を行う必要がありますが、そのためには多くの時間を要することから、送電インフラが整備されるまでの当面の間は、発電事業者が行う蓄電池等の電力調整設備の導入について国の積極的な支援が必要と考えます。

- ③ 大規模な風力発電については、環境影響評価の実施が必須となるため、3年間と定められている買取価格の優遇期間内の運用開始は困難な状況にあります。小水力発電についても、水利使用に関する許可手続き等で相当の期間を要します。

このため、風力発電や小水力発電については、平成26年度末までの3年間となっている優遇期間を、さらに5年間延長する等、固定価格買取制度の効果的な制度設計を行っていただきたいと考えます。

また、翌年度の買取価格・期間については、発電事業の検討に当たって非常に重要であり、事業計画の策定や資金計画（予算措置）に支障が生じないように、可能な限り決定時期を早めていただきたい。